

えがお 8

EGAO

2017 August
Volume 42



市立八幡浜総合病院

● ♪免疫力を強化しましょう♪

☆ワクチンに興味湧くチン☆・・・・・・・・・・・・・・・・手束 真理

●積極的に検診を受けましょう

☆父(乳)も安心、乳がん検診☆・・・・・・・・・・・・・・・・井上 由衣


●お知らせ

外来診療担当医一覧、お知らせ etc

♪免疫力を強化しましょう♪

お子さんは、お母さんのおなかの外に出てから、いろいろなウイルスや細菌にさらされながら、免疫をつけて強くなっていきます。抗菌薬や抗ウイルス薬などで治療が可能なものも増えてきましたが、適切な治療をしても後遺症を残したりするもの、原因治療が困難なものがまだまだたくさんあります。そこで、発症を抑えることで後遺症や重症化を防ぐことが必要となります。それには、予防接種で自分の免疫をつけることが大切です。ワクチンで防げる病気には左記の様な種類があります。

生ワクチン	不活化ワクチン
・ロタウイルス	・A型肝炎
・結核 (BCG)	・B型肝炎
・麻疹/風疹	・髄膜炎菌
・水痘	・ヒブ感染症
・おたふくかぜ	・小児用肺炎球菌
	・ジフテリア/破傷風
	百日咳/ポリオ
	・インフルエンザ
	・HPウイルス



予防接種も色々あります

予防接種は、生ワクチンと不活化ワクチン、公費ワクチンと自費ワクチンに分かれます。公費のワクチンには、ヒブワクチン(インフルエンザb型菌)、プレベナー13(肺炎球菌13価)、4種混合(ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)、



B型肝炎、BCG、MR(麻しん・風しん)、日本脳炎、みずぼうそうなどがあります。スケジュールも複雑になってきていますので、保健センターからの通知や小児科学会予防接種スケジュールも参考にして接種をしてください。わかりにくい場合はお気軽にご相談ください。

ヒブ菌・肺炎球菌への効果！

ヒブ(インフルエンザb型菌)・肺炎球菌は、小児細菌性髄膜炎の2大原因菌です。細菌性髄膜炎は、適切に治療をしても25-30%に後遺症を残し、5%が命にかかわるとされている重篤な病気です。ワクチン接種によりヒブによる髄膜炎は大幅に減少しました。肺炎球菌には型がたくさんありますが、予防接種に含まれる型の肺炎球菌による髄膜炎は減少しています。

百日咳への効果

百日咳は新生児に感染すると無呼吸発作などの重篤な症状を呈し、ひど



小児科 手束 真理

新居浜出身で4月から勤務している手束です。お子さんがすくすく育つようお手伝いできればと思っています。宜しくお願いします。

- 趣味: スマホゲーム
- 特技: お菓子作り
- スポーツ: テニス
- タイプ: ディーン藤岡

い場合は人工呼吸器管理が必要になります。予防接種は、百日咳の家族内感染を90%防ぐとされています。家族みんながしっかり接種することで、重症化を防げます。

薬飲んでるんですけどいいの？

一部の薬では予防接種を待つことがあります。風邪や中耳炎などで内服する薬剤は、接種に影響がないことが多いです。予防接種が可能かどうか判断に悩む場合はご相談ください。お子さんは、よく風邪をひいてしまい、鼻水や咳などの症状がない時期は少ないため、できる時にどんどん予防接種をすすめましょう。



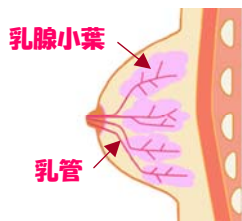
同時接種は大丈夫？

同時接種のデメリットは殆どありません。予防接種の中には2~3回しっかりうたないと効果がでないものもありますので、小さい頃にできるだけ早く接種する必要があります。

1週ずつでもかまいませんが、大変負担になりますので、ワクチンの接種を早く行い免疫を早くつけるために同時接種を行っています。もちろんそれでも怖い場合は1週ごでも接種いたしますのでかかりつけ医にご相談ください。

予防接種をすることで、個人個人の免疫をつけるだけでなく、みんなで感染の流行を作らないことにもつながります。一緒にみんなのこどもを感染症から守りましょう。

☆とても怖い乳がん！



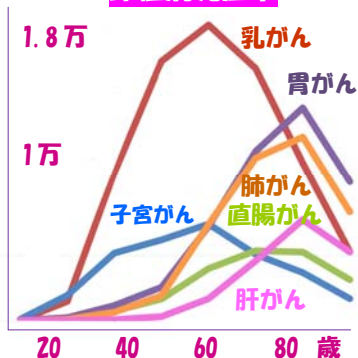
赤ちゃんを育てるために大切なお乳を作り出す乳腺小葉や、通り道である乳管の上皮が悪性化したものが乳がんです。放置すると、がん細胞が増殖して乳腺の外へも広がっていきます。

そして血管やリンパ管へ入って全身をめぐる、乳腺以外のさまざまな組織や臓器へ転移します。ここに乳がんの怖さがあります。

12人に1人が乳がん！

近年、乳がんは日本人女性の悪性腫瘍のなかでは最も頻度の高いものとなっています。乳がんの患者数は年々増加し、現在年間6万人以上が乳がんと診断されています。生涯のうち女性の約12人に1人が乳がんになり、女性ならば誰もがなりうるとても身近な“がん”なんです。

部位別発症率

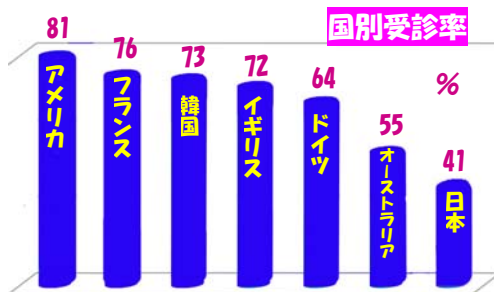


30代から増加し始め、家庭にとっても社会にとっても重要な40代後半から50代前半にピークを迎えます。また死亡数も年々増えつづけ30~64歳の女性の死亡原因で1位なのが乳がんです。

積極的に検診を受けましょう！

乳がんは早期発見して治療することができれば殆どが完治します。乳がんから命を守るために、少しでも早く発見して治療を行うことがとても重要です。

アメリカは乳がん受診率がとても高く、それに伴い死亡率は年々減少しています。しかし日本では国が定期的な検診受診を推奨しているものの、受診率はアメリカの半分しかありません。



oppai専用のレントゲン撮影機です。

マンモグラフィは乳房X線撮影の事です。乳房は全体が柔らかい組織でありX線の吸収差が少ないため、通常のX線装置では撮影することができません。そのため乳房専用のX線装置を使います。触ってもわからないような早期の小さな乳がんはもちろん、しこりを作

らない乳がんや細かな石灰化を見つけることができます。

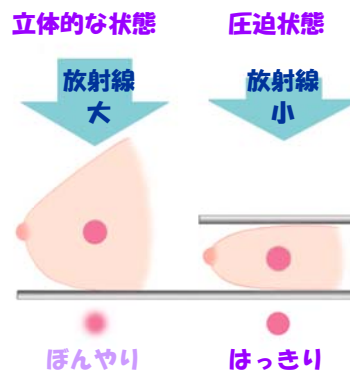
撮影時には圧迫板で乳房を圧迫しなければなりません。圧迫が必要な理由は、圧迫して乳房を薄くし固定するためと、被ばく量を少なくするためです。



こんな感じになります。

♪薄くするのがポイントです。

立体的で厚みがある乳房はそのまま撮影すると脂肪や乳腺、血管などの重なりで実際腫瘍があっても映し出されないことがあるのです。また、薄くすることで少ないX線量で鮮明に撮影できます。乳房を圧迫して1センチ薄くすると被ばく量はおよそ半分になります。圧迫はとても重要なのです！



最新のマンモが入りました！

当院には新病院開設とともに2015年4月より最新機種である『FUJIFILM AMULET S』が導入されました。小さな構造物も鮮明に撮影することができ、コンピューターが正常でないところを拾い上げ診断の補助をする機能も装備されています。昨年度より女性技師がマン



モグラフィを担当しています。同じ女性の立場で考え、丁寧な検査を心がけています。まだ乳がん検診を受けたことがない方、しばらく受診してないなという方、あなたを乳がんから守れるのはあなただけ！ぜひ当院で乳がん検診を受診しましょう！



放射線室 井上由衣

地元八幡浜出身で、当院唯一の女レントゲン技師井上です。技師としては、まだまだ未熟な私ですが、女性の立場になって一生懸命頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

- 趣味: ライブ・フェス
- チャームポイント: 唇のほくろ
- タイプ: アクティブな人

外来診療担当医一覧

診療科	階数	受付時間		月	火	水	木	金
		午前	午後					
内科	2階	8:30	科によって曜日、時間が異なります	田中 酒井	仙波(英)・酒井 仙波(尊)	仙波(尊) 中野・酒井	中野 田中・酒井	岡田 酒井・仙波(尊)
循環器科				高橋 上村・大蔵	上村 高橋	川上	大蔵 上村	大蔵
総合診療				(神経内科)越智	(呼吸器)片山 (糖尿病(第1のみ))古川	休診	(乳腺)本田 (呼吸器)片山	(呼吸器)片山
皮膚科				松田	松田	松田	松田	松田
泌尿器科				武田	井出	武田	柳原	井出
小児科	1階	11:00	なし	手束・楠目 (神経(第2・4))日野	村尾 (慢性)楠目	楠目・手束 (循環器)村尾	村尾 (予防接種・慢性)手束	手束・村尾
耳鼻咽喉科				佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
歯科口腔外科				合田	休診	中城	休診	日野
外科	2階		なし	的場・中津	的場・渡邊	中津・太田	的場・太田	中津・渡邊
脳神経外科				河内	休診	河内	休診	田川/重川 (隔週)
整形外科	1階		なし	温泉川・徳本・濱西	堀田・徳本・岡本	濱西・岡本・温泉川	岡本・濱西・堀田	徳本・堀田・温泉川
眼科				依光	依光	依光	休診	休診
婦人科				休診	休診	城戸	休診	休診

- 担当医は変更になる場合がございます。 ホームページアドレス <http://yawatahama-cgh.jp/>
- 受付時間は各診療科によって異なりますので、詳細につきましては当院(Tel.22-3211)へお問い合わせください。
- 小児科の専門外来、歯科口腔外科、婦人科については事前予約制になります。
- 婦人科の診療時間は水曜日11:00~12:00になります。予約は平日の13:00~17:00に受け付けます。

2017.5.13 ふれあい看護体



平成29年5月13日に「ふれあい看護体験」を開催しました。このイベントは新病院のアピールをはじめ、看護師の職場を体験して頂き理解を得ることや、地域住民とコミュニケーションを図ることを目的に地域の皆様方に参加を募り、男性1名を含む計8名の方に参加をして頂きました。

新病院建設中のため中断していたものの、今回5年振りの開催となり、運営スタッフも嬉しい思いで当日を迎えることができました。

当日は病棟での看護体験、血管年齢測定、血糖測定を行いました。病棟での看護体験では2名ずつ4病棟に別れ、各病棟の指導看護師のもと、洗髪、手浴、足浴、特浴、ベッドメイキング等、短い時間ではありましたが体験して頂きました。血管年齢測定体験は臨床検査技師に依頼し、自分の血管年齢を実測してもらいました。皆さん興味津々で、実測終了後のミニ学習会で血管年齢についてより知識を深めて頂くことができました。最後に座談会で今回のふれあい看護体験は終了となりました。参加者の皆さまの意見・感想を参考にして次年度も「参加してよかった」と思ってもらえるイベントにしていきたいと考えています。



看護師 上田美保子

~新しいC型肝炎ウイルス治療について

現在、C型肝炎ウイルスに対する治療はインターフェロンを使わない、経口薬による治療が主流となっています。経口薬治療は従来のインターフェロン治療と比較して、副作用がとてもなく、著効率も概ね90%以上と非常に高い治療です。これまで、副作用のためインターフェロン治療ができなかった方、中止した方、治療を行ってもウイルス排除できなかった方、年齢や肝機能低下のため治療適応外だった方でも、経口薬によりウイルス排除に成功している方は多数おられます。ウイルス排除ができれば肝発癌抑制など肝疾患の予後の改善が期待できます。

経口治療薬は高価な薬ですが、治療適応であれば申請により医療費助成を受けることが可能です(月額自己負担1~2万円)

今年度から、当院でも経口薬によるC型肝炎ウイルス治療を行うことが可能になりま



内科 中野憲仁